

全国高校総体(インターハイ) 空手競技 女子形個人**2位**・女子組手個人**3位**

全国高校総体空手競技(奈良県宇陀市)にて女子形個人で**宜保 ありさ**(普通科 2年:那覇市立安岡中出身)が全国の強豪を相手にトーナメントを勝ち上がり、**県勢初の2位**に輝きました。

また、女子組手個人で日本一を目指した**八頭司 歩**(普通科 3年:福岡市立玄洋中出身)は、準決勝で惜しくも敗れ**3位**となりました。二人とも日頃の厳しい練習の成果を発揮し、素晴らしい結果を残してくれました！

宮崎日日新聞

第3種郵便物認可

2015 近畿
インターハイ
第6日

全国高校総体(インターハイ)第6日は、和歌山県などで13競技を行った。県勢は11競技に出場。正式種目になり2回目の少林寺拳法は、男子組演武の久保田将聖・鳴海洗楓(郡城)が準優勝。空手女子形個人の**宜保ありさ**(宮崎第

一)もこの種目県勢初の2位となり、同組手個人では八頭司歩(同)が3位に入った。
陸上男子3000m障害は牧野光留(小林)が4位、重量挙げは62kg級の清水朋樹(小林)が17kgを成功させ5位に入った。ボクシングは準決勝に臨んだ日章学園勢4人がいずれも決勝に進出し、2位以上を確定させた。
ハンドボール男子の小林秀峰は初戦を突破。レスリング団体の宮崎工は2回戦敗退。テニス男子団体の宮崎日大、女子団体の宮崎商はいずれも初戦を消した。
第7日は3日、大阪府などで13競技を行い、県勢は6競技に出場する。(記録は本県関係分と団体決勝)

空手 宜保(第一) 女子形2位

沖繩生まれの小柄な選手が、本県に快挙をもたらした。女子形個人で県勢初の準優勝に輝いた**宜保ありさ**(宮崎第一)。「うれしい、勝ち

ヒロイン

負けに関係なく、思い切り自分の形をやり切ったと笑顔がはじけた。

2年生 県勢初

「来年は金メダル」

「緊張感のある環境を求め、親元を離れて指定支部絞って猛練習。身長147cmながら速さと流れるような徒手を武器に、次々と勝ち上がられるチームには、形を専請た。初決勝の舞台も「相手も強いが負けられない」と強気で臨んだが、7本の旗はすべてが激しく組み合う練習場だった。まだ2年生。「メンタルの弱さが動きの硬さにつながった。次は金メダルを取り組む形を「動きやすく、戻ってくる」。来年はもっと成長して見せ場がある」という理由で、戻ってくる。(甲斐証明)

八頭司(第一) 3位 組手

○女子組手個人の八頭司歩(宮崎第一)は準決勝で力尽きた。準優勝した全国選抜で勝っている相手から、開始早々に上段突きでポイントを奪う。だが、その後は前に出たところへ突きを合わされ、最後まで積極的に攻め続けたが、1-3と及ばなかった。日本一を目指した団体戦は前日の3回戦で敗退。「みんなのために個人戦で優勝するしかない」と、主将としての使命感を胸に戦った。思いを果たせず「とても悔しい」と涙を流した。



【空手女子形個人決勝】切れのある動きで県勢初の準優勝に輝いた**宜保ありさ**(宮崎第一) =宇陀市総合体育館



【空手女子組手個人準決勝】積極的に攻める**八頭司歩**(宮崎第一、右) =宇陀市総合体育館